

小学校入学前にも MR（麻しん・風疹混合）ワクチンを打ちましょう

2006.10.12

今年は、予防接種のやり方に大きな変化がありました。それは、小学校入学前の1年間(年長さんの時)に、MR（麻しん・風疹混合）ワクチンをするようになったことです。今年の4月にこれまで1才から7歳半までが対象だった麻しんと風疹のワクチンが、1才から2才までのMRワクチンに変更になりました。このときに、年長さんのときにもう一回MRワクチンを打つことが定められたのですが、4月の時点では1才から2才の間にMRワクチンを打った人だけが対象と、打つこどもの制限がありました。全国の小児科医はこの変更にも反対をし、6月に急遽、これまで麻しんワクチンや風疹ワクチンを単独で受けたお子さんにも対象を広げることが決まりました。

最近、麻しんや風疹の流行はほとんどなくなりました。しかし、流行がほとんどなくなったために、ワクチンを1回打ったら一生大丈夫ではなくなりました。ワクチンを受けたこどもが何年かたって抵抗力が落ち、麻しんの流行にさらされる危険性が増しています。このため、もう一回ワクチンを打って抵抗力をつけなければなりません。麻しんは今でもインフルエンザ以上にこどもの命を奪う恐ろしい感染症です。また、風疹の流行があると、生まれてくる赤ちゃんに心臓や目、耳の病気をもたらすことが知られています。これらの流行をなくするためには、ひとりひとりが自分を守るためと、まだ見ぬ命を守るためにワクチンをしていかなければなりません。

行政は広報に努めましたが、年長さんの接種率はまだまだ低いようです。来年の就学前までに忘れずにワクチンを受けようとしてください。北斗市や七飯町ではワクチンの接種券が郵送されています。函館市のお子さんは各医療機関に接種券がありますので、それを利用すればワクチンは無料です。あなたの大切なお子さんをぜひこのワクチンで守ってあげてください。